toyo institute of art and design
2013, march 20
14:00, lecture room

helmut schmid
made and
natural made

gallery de tobi
exhibition
2013, march 20 to 24

helmut schmid
man made
nature made

タイポグラフィトーク
東洋美術学校　C 棟 C-1 教室
3 月 20日（水・祝）
14:00 –

ヘルムート シュミット
メイドおよび
ナチュラルメイド

展覧会
東洋美術学校 ギャラリー館
3 月 20 日（水・祝）16:30 –19:00
3 月 21 日 – 23 日 12:00 –19:00
3 月 24 日 17:00 まで

ヘルムート シュミット
マンメイド
ネイチャーメイド

made and natural made man made nature made

in the lecture room of toyo institute of art and design helmut schmid will try to talk on made and natural typography.

---

the exhibition at gallery de tobi reminds the visitor of the already neglected great disaster of march 11, 2011; reminds the visitor of the man made and the nature made. all issues of *typographic reflections* and the robundo published books will be exhibited.

---

with his veneration for black, helmut schmid seems to value the purity of white space. he studied in basel, switzerland in the 1960's under emil ruder and still follows the spirit of his master. even after settling in osaka, he has been developing various activities internationally like diverse creative projects of his own, educational programs and creation of commercial designs.
jiro katashio

東洋美術学校におけるタイポグラフィトークで
ヘルムート シュミットはメイド および
ナチュラルメイド タイポグラフィについて語る。

東洋美術学校ギャラリー館における展覧会では
既に忘れられかけている 2011.3.11 の
災害に注意を喚起し、マンメイドおよび
ネイチャーメイドについて考えたい。
併せて、タイポグラフィック リフレクション全号、
朗文堂発行の著書を展示する。

このひとは、黒への畏敬があるから、白地の純粋さを
重視するのであろう。ヘルムート シュミットは
1960 年代にスイスのバーゼルでエミール ルーダーに
学び、その精神をいまなお継承している。大阪を
制作の拠点としてからも国際ステージで多彩な
自主制作プロジェクト、教育活動、商業デザインなど
を展開している。
片塩二朗

japan japanese
the quiet beauty of things japanese
helmut schmid
robundo publishing inc.
3,800 yen

helmut schmid
made and natural made

ヘルムート シュミット
メイド およびナチュラルメイド

タイポグラフィトーク
3 月 20 日（水・祝）
要予約、聴講料 1,000 円
14:00 –（13:30 開場）

東洋美術学校　C 棟 C-1 教室
TOYO INSTITUTE OF ART & DESIGN
161-0067 東京都新宿区富久町 2-6

オープニングレセプション
『japan japanese』著者サイン会
17:00–18:30
東洋美術学校　D 棟 1F 学生ホール

トーク申込先
株式会社 朗文堂
e-mail: robundo@ops.dti.ne.jp
facsimile: 03-3352-5160
http://www.robundo.com/robundo/blog/

講演会当日の 19:00 より会場の

懇親会へも参加をご希望の方は
講演会のお申込時にご一緒にお申込を
お願いします。

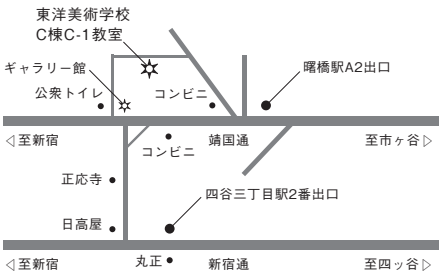
主催：株式会社 朗文堂

後援：学校法人専門学校 東洋美術学校
産学連携事務局・
デザイン研究会 アクティ

gallery de tobi
man made nature made

ヘルムート シュミット
マンメイド ネイチャーメイド

展覧会　東洋美術学校　ギャラリー館
3 月 20 日（水・祝）16:30 –19:00
3 月 21 日（木）– 24 日（日）12:00 –19:00
最終日 17:00 まで



アクセス
都営新宿線　曙橋駅 A2 出口下車　徒歩 8 分
東京メトロ丸の内線
四谷三丁目駅 2 番出口　徒歩 10 分

プロジェクト 福島

2011 年 3 月 11日に福島を襲った天災と人災に
向き合ったプロジェクトに出会うまでに
かなりの時間がかかった。

福島は英語にすると幸せな島の意味であると
知ったとき、私はこの皮肉に聞こえる
訳語こそ、神戸芸術工科大学での最後の
タイポグラフィの課題にふさわしいであろうと
考えた。そこで、この英訳 happy island
fuku shimaを白い紙の上に黒で組んだ。
そして学生たちに、このデザインに自分の
メッセージを明朝体の日本語で加える
よう求めた。私にとってこれは学生たちとの
初めての合作となった。私は創意に
富んだ言葉、力強いデザインを期待した。

森本真優子は、与えられたデザインに
挑戦する代わりに、メッセージを付け加える
ためのスペースを見つけようと試みた。
それは、ミュージシャンが他のミュージシャン
の音調を借りて新しいメロディを
作ろうとするかのようだ。まったく予想も
していなかった解決法だったので、私は
タイポグラフィック・リフレクション 8 を
彼女の感性豊かで思慮深い作品のために
捧げようと考えたのである。
彼女自身の説明の言葉を採用して。

ヘルムート シュミット、大阪

typographic reflections 1
1989 11 09 the berlin wall falls
lead of the asahi newspaper

typographic reflections 8
project fukushima

project fukushima
reflected by mayuko morimoto
kobe design university